主任児童委員の活動

主任児童委員代表　佐藤　是人

日頃から主任児童委員活動にご理解、ご協力を賜りましてありがとうございます。

令和3年度の此花区の主任児童委員は18名で、コロナ禍においても各地区担当者が地域に密着して日々活動しています。

しかし今年度も新型コロナウイルスの感染が全国的に広がり、2ヶ月に1度開催していた此花区の主任児童委員連絡会が中止に追い込まれるケースが多々ございました。

此花区の主任児童委員連絡会が開催出来ない事で情報共有が出来ない状況が続いており、少しでも情報共有が出来るように、令和3年度からネット環境を使用したウェブ会議を開催出来るよう全員で設定や使い方の練習をして徐々に取り組んでおります。

10月に緊急事態宣言が解除されてからは、大阪市の主任児童委員連絡会も4ヶ月ぶりに開催され、各区の課題など意見交換をおこないました。

此花区におきましては、11月24日に開催した主任児童委員連絡会で講師の先生をお招きして「自閉症や発達障がい　・軽度発達障がいがある子どもとの関わり方」について勉強会を開催して、障がいを抱える子どもや、その家庭につての理解を深めてまいりました。

コロナ禍で活動の幅が狭くなりがちですが、問題を抱えた子どもや家庭の事案は増加傾向にあり、コロナ禍では問題が潜在化しやすい為、気が付いた時には深刻な状況になっている事も想定出来ますので、ウェブ会議などを積極的に取り入れて、主任児童委員の情報共有を行い、課題に取り組んでまいりたいと考えております。

市連絡会のようす

区勉強会のようす

春日出地区の活動

地区委員長　角林　佳代子

2020年初頭からのコロナ禍の中、何処も会議や行事が軒並みに中止、延期になり、当地区でも定例会を休止し、資料のみ配布という月が続きました。

今期、当地区は区社協から提供されている見守りリストを活用しての見守り活動モデル地区3地区の1つとして、先行して活動を試行していますが、3地区が足並みを揃えるより、色んな形があって良いのではないかと思い、春日出地区は出来るだけ合理的に行ってみる事としました。

それもコロナの影響で思うようには進まず、2021年末現在、自宅確認、マスクや挨拶のポスティング、電話連絡という所で止まっています。

しかし、思うように進まなかった事で、リスト及びこの取り組み自体の持つ問題点がよく見えて来たという利点もありました。

2021年終盤からようやく定例会も気を付けながら正常開催出来るようになり、地区の意見や方向性をまとめ始めています。

民生委員の持つ役割、他機関との連携の在り方について、今一度学び、熟考しながら、適切な支援への「つなぎ役」として活動して行けたらと、地区としては思っています。

定例会のようす